



# Another Rocket



建物東側から見る：不連続統一。吉阪隆正が唱えた言葉はデザインを超え、組織のあり方や様々な活動領域まで発展する力を持っている。ここでは1階の素材感あるランダムなボリュームと素材感の操作による不連続性、2階の横連窓による建物全体の統一感。この二つをデザインテーマとした。  
 外装は天然木(レッドシダー)・鋼板(ガルバリウム)・タイル・セメント板基材の塗壁(窯業系サイディング+ジョリパット)を採用し、意匠状のバラエティを増やすと共に耐候性・メンテナンス性の同条件比較を経年で行う実験要素も含む。

## 設計趣旨

「働くとはどういうことか」  
 生計を立てるための場であることはもちろん、「働く」を通して人間性を磨く場でもある。  
 経済活動と精神活動、これが今回のオフィス建築計画のテーマである。  
 そこで活動している人の顔、醸し出す空気が見えること、これは消費者にとって距離感を縮める第一歩となり、内部が外に滲み出るような建築を目指すとともに、人間性を磨く「ほど良い緊張感」が生まれる場を目指した。外部から見られる緊張感と、緑が視界に入り作業に集中できるほど良い緊張感の仕掛けを取り込んだ。敷地向かいに竹むrocketへのオマージュとし、このオフィス建築が未来にははたらく第二rocketになることを願って出発である。



自然科学館から見る：外観はrocketへのオマージュ



夜景：2階執務スペースが外に滲み出し、景観のアクセントになる

## 1【周辺環境との関係性】

この場所は県立自然科学館、人気セレクトショップお花屋、結婚式場、さらに外側には鳥屋野球場、県立図書館、鳥屋野湯、県立鳥屋野湯公園という人が集まる文化的エリアである。  
 計画建物は景観に馴染むように道路側から建物を見えやすくしておき、特に敷地東北角地は道路からの乗り入れする車が多いため、道路側を駐車場にしたことで視線が良好な運転環境を提案している。  
 2階は横連窓による透明感を出し、外観が景観と溶け込むことを狙った。



航空写真から近隣関係を見る



One day the ISS passed over the another rocket.

## 2【機能的な動線計画】

1・2階ともに平面中央の階段を中心とした回遊性ある動線計画。  
 <1階>  
 各打合室(商談スペース)は中心のキッチンからアプローチが短い計画で、道路側に面しない位置に配置し、プライバシーを確保する計画。  
 水回りを中心とまとめているため容易なメンテナンス計画。



打合室キープラン



ホールギャラリーからキッチンを見る



打合室1



打合室2



打合室3



打合室4



会議室

<2階>  
 【ほど良い緊張感】  
 2階執務スペースは全員が外側を向いたデスク配置になっている。フロアに広がる空間の一体感があるように、各自は外を向き集中できる場と、視界に入る緑や視線の抜けが気持ちいい空間を演出している。また、外からも見られる関係はほど良い緊張感を生んでいる。

### 【機能的な動線計画】

- ・平面計画の中心に水回り、コピーミーティングの共有空間(コア)を配置。
- ・執務スペースはコア部分より450mm 奥へずらすため、同一フロアでおながら縦や横に空間が広がっている。
- ・執務スペースは背面のコアと壁面取掛を兼ねており、三箇所に設置した階段はコアへのアクセス性を高めている。



執務スペースから外の植栽が視界に入る



2階執務スペース：南東コーナーからコアを見る。天井は垂木の構造を表し温もりとデザインアクセントとした。



S:1/150 1階平面図兼配置図

## 3【構造のデザイン】

温もりを感じ、環境負荷低減を踏まえ木造軸組工法としている。  
 2階は中心コアとスチール製筋造の使い分けにより、構造の合理性と共に外に向け視線の透過性が増すヒエラルキーの提案。  
 <中心コア>  
 中心コアは木製筋造で倍率、靱性を確保している。  
 <スチール製筋造>  
 外回りは振留スチール製筋造を採用することで耐力壁部分の透過性を高めている。また倍率を抑えることで、オーバーハング部分の伝達する外力をコア部分に負担させている。



2階

## 4【地球環境への配慮】

<ハップデザイン>  
 2階執務スペース東側のサッシは季節、時間により変わる風向でも効率的に風を取り込むため、縦スリ窓を左右交互に変え配置とした。  
 窓から取り込んだ風はコア部分の欄間からトリアットへ床レベル差を利用して夏季中間期のベンチレーション計画とした。  
 サッシは樹脂複合サッシLow-eペアガラスを使用し断熱性と耐熱性を両立している。また大屋根による庇効果による夏季の直射熱をカットする。



断面図：ベンチレーション概要

## 5【足場不要の維持管理】

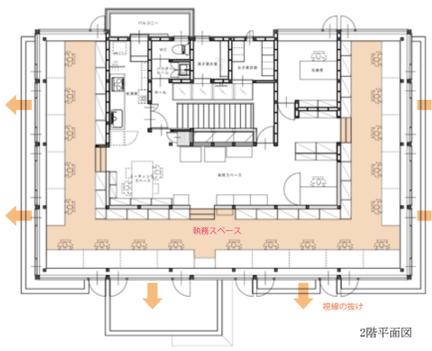
<日常のメンテ>  
 1階屋根の一部は跳ね出しバルコニーになっており2階のガラスメンテを容易に行える。屋根は耐久性が高いステンレスを採用しトリアットから母屋の屋根上にはのぼることが可能となり、足場を必要としないメンテが可能となっている。



2階 跳ね出しバルコニー



2階



2階平面図

## 8【防犯について】

<防犯の安全>  
 建物の外壁形状は凹凸をできるだけ避け、人が物陰に隠れにくく外から全体が見えやすいワンボリューム形態とした。

## 9【防災について】

<太陽光発電>  
 屋根の南面には4.14kw発電量を持つ太陽光パネルを設置し、環境負荷の軽減を意図するとともに、災害時には非常用電源として使用も可能。  
 <防災備蓄庫>  
 1階の図面庫を災害備蓄倉庫と兼用し、単独の搬入出用の引き戸を設置。



コアから執務スペースを見下げる



ビオトープ



キッズコーナー



授乳室



分かりやすいサイン

## 10【照明計画】

照明計画は全てLED器具を採用。執務スペースはタスクアンビエント照明計画とし省エネ化した。